

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年 6月18日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	八田川地域防災対策整備事業	構想番号	(土・河整) 構-19-01	
		地区名	綾部市上杉町	
概算事業費	約2.0億円	事業期間	平成19年度～平成21年度(予定)	
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力も低いことから、河川の護岸改修を行う。L=110m			
関連する公共事業				
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	現況の河川は、コンクリートブロック積み構造で、河岸部が単調で自然植生に乏しく、河川横断方向の自然の連続性が失われていることから、多様な生物の生息できるような構造とする。	護岸については、現場発生土を有効利用した緩やかな法面の土羽構造を採用し、ブロックなどの人工構造物の使用を極力軽減し自然植生を保全する。	○
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質、粉塵 電磁波・電波・日照 など 	事業実施に伴い掘削土の発生が見込まれるが、極力残土の発生を抑制することとする。	掘削土砂については、工事で発生する土砂を有効に利用するとともに、近隣の田畑の嵩上げをするなどして、残土の発生を極力抑制する。	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	当該河川は綾部市中部を流れる河川であり、近接して国道27号及びJR舞鶴線があり、交通の便が良い地域である。また、周辺には田園地帯の中を集落が点在しており、地域住民が親しみやすく、周囲の自然環境に合わせた河川環境を保全する。	緩やかな法面の土羽構造の護岸とすることで、河川の親水性を確保するとともに、地域の自然植生を回復する。また、みお筋などを設けることにより、現地の生態系に配慮するとともに、河川景観の維持を図る。	△
地域の環境像	<p>施行地周辺は、田園地帯に人家が隣接して点在する、のどかな風景が広がる地域である。生態系や植生を保全するとともに、周辺にとけ込む景観を意識するなど、地域に親しみのある整備を行う必要がある。</p>			
特記事項				